

# 宮整広報

## CONTENTS

### 保険だより

平成20年度保険全体研修会	1
損害保険料率算出機構 情報交換会	2
ニッセイ同和損害保険対人担当者研修会にて講演	2
柔道整復師と労災保険 ~先人の恩恵を忘れずに~	3
「第3回宮整いも煮会」	4
平成20年度第2回SVM地域代表会議 開催報告	6
SVM地域貢献活動紹介 ~宮城野地域~	7
「みやぎのまつり」 参加報告	8
宮城野区福住町防火防災訓練 参加報告	9
文部科学大臣杯争奪第17回日整全国少年柔道大会で宮城県チーム健闘!!	10
全国健康柔体操指導者講習会 参加報告	12
介護ニュース Vol.7	13
宮城県「柔道整復学」構築学会 投稿・発表規定	14
新入会員紹介	18
SVM活動報告	22
会務報告	24
風見鶏	25
編集後記	26

# 平成20年度 保険全体研修会

平成二十年九月二十八日(日)  
平成二十年保険全体研修が、  
フォレスト仙台において行  
なされました。

第一部は、宮城社会保険  
事務局 二瓶初男医療指導  
官から「柔整療養費の支給  
申請について」

1、宮城県柔道整復療養費  
審査委員会の審査状況  
について

2、療養費支給申請における  
留意点について

(1) 算定基準の実施上の  
留意事項

ア、医師の同意  
イ、支給対象となる負傷  
ウ、初検料および初検時相  
談支援料

エ、工、力、近接部位  
カ、工、往療料 オ、長期施術  
キ、3部位以上の施術  
ク、協定書

(2) (2) (2) (2)

ア、協定の遵守

イ、受領委任取扱いの中止  
ウ、施術の担当方針

エ、受給資格の確認

オ、意見書の交付 カ、指導・監査

(3) 指導監査要綱

ア、集団指導 イ、個別指導  
ウ、監査 エ、監査後の措置

3、平成二十年十月一日からの届出  
等について

ア、全国健康保険協会宮城支部  
イ、東北厚生局

4、その他、の項目に基づき講習が  
行なされました。

第二部は、救急救命講習「AED  
を使用した心肺蘇生法」について、  
綜合警備保障株式会社、半沢浩氏を



宮城社会保険事務局  
二瓶初男医療指導管理官



AED実習講習

(文責 保険担当)

講師に招き、救急  
救命の現況について  
の講演と、AED  
を使用した心肺蘇  
生の実演講習が行  
なされました。  
当日は受付開始  
時刻前から来場す  
る会員もみられ、  
二九九名の出席を得て、会場に補助  
席を用意するほどの出席率の高さと  
なりました。



# 損害保険料率算出機構 情報交換会

本年も損害保険料率算出機構との情報交換会が八月二十九日に開催されました。

出席者は仙台自賠責損害調査事務所長今野良郎氏、自賠責損害調査センター東北本部医療調査課長宮勝弘氏、同損調主査小幡谷隆夫氏、当会からは、上泉会長、豊嶋副会長、櫻田保険担当、佐藤勝一涉外担当が出席されました。

自賠責損害調査事務所（以下、損調事務所）側からは、柔道整復師の自賠責の取扱いについて、過去十年間で、柔道整復師全体の自賠責取扱いが、総件数一・七五倍、総支払額二・四二倍、一件当たり支払額一・三八倍の伸び率となっていること。

東北六県の取扱い件数では宮城県と福島県で、総件数の約七〇%を占めている状況であること。

また、全国的に医科の取扱い件数が減少傾向に対し、柔道整復施術の伸び率が大きいことが報告された。当会側からは、佐藤涉外担当が、人身事故証明書の入手不能事例について質問した。

損調事務所側から、軽症の事例については人身事故証明書の発行がされにくい事情があるのでないかとの事、また、証明書が発行されない場合は、人身事故証明入手不能書で対応するとの説明があつた。

また、最近の四年間ににおいて、仙台自賠責損害調査事務所からは、年度当初に調査担当課から新人課員の研修目的で、柔道整復施術所の視察見学が行なわれていることもあわせて報告いたします。

その後、問題事例の分析・検討会を四つのグループに別れて行い、当方側がそれぞれのグループに対してを説明し、出席者からの質問等に対応。アドバイスを行ないました。

研修会後の各担当者からの感想では、これまで柔道整復師や柔整施術について良く知る機会が無かつたことから、今回の研修で、直接、対話形式で情報交換することにより、柔道整復師や柔整施術に対する理解を深めることができたとの意見が多く出たことが印象的でした。

今後も定期的に情報交換を行うことで合意したことを報告いたします。

（文責 保険担当）

## ニッセイ同和損害保険 対人担当者研修会にて 講演

（二十年十月三十一日開催）

交通事故負傷における施術では、当県は常に全国上位の取扱い比率で

推移しておりますが、今回、ニッセイ同和損害保険株式会社、東北損害サービス部から依頼があり、東北六県の対人担当者研修会に上泉会長、櫻田保険担当、佐藤勝一涉外担当が出席し、講演を行なつてきました。

参加者は東北各県の対人担当者三十名が出席、当方側から、柔道整復師についての概要や業界団体、交通事故による負傷への施術内容などを説明し、出席者からの質問等に対応。

その後、問題事例の分析・検討会を四つのグループに別れて行い、当方側がそれぞれのグループに対してアドバイスを行ないました。

研修会後の各担当者からの感想では、これまで柔道整復師や柔整施術について良く知る機会が無かつたことから、今回の研修で、直接、対話形式で情報交換することにより、柔道整復師や柔整施術に対する理解を深めることができたとの意見が多く出たことが印象的でした。

今後も定期的に情報交換を行うことで合意したことと報告いたします。

（文責 保険担当）

# 柔道整復師と労災保険～先人の恩恵を忘れずに～

当会の小野木馨会員より、大変貴重な資料をご提供いただきました。その資料とは、柔道整復の源とも言える千住の名門“名倉家”的名倉重雄先生（厚生年金病院初代院長）が昭和五十一年に“千住名倉会”を発会された際に発刊されました第一回会報です。

その中に、魚住芳平先生（柔道整復師）が寄稿された記事があります。魚住芳平先生は、労災保険を柔道整復師が取扱い出来るようご尽力くださいつた偉大なる功労者ですが、名倉重雄先生の多大なるお力添えをいただきながら、労災保険適用を勝ち取つたきさつが、記事には綴られています。

今、私達は当然の権利のごとく、労災保険を取り扱っていますが、こうして歴史を辿つてみますと、先人の多大なる恩恵のおかげで、権利を頂戴できていることがよく見えてきます。

私達ができる唯一の恩返しは、より良い施術をすることで、国民に喜んでいたただすこと、評価していただことではないでしょうか。

魚住芳平先生の記事全文を掲載させていただきましたので、どうぞご覧してみてください。

## 労災保険適用の恩恵を忘れずに (千住名倉会会報より)

魚住 芳平

突然「千住名倉会」発会のご通知を名倉重雄先生よりいただいて、まつたく夢のようで、一瞬目の前が明るくなりました。

それもそのはずです。私が名倉先生の本院にご厄介になつていた時期は、大正十二年の関東大震災を挟んだ大正間の末期で、千住大橋の架替工事が行われていた時です。

大正十三年に東京帝大整形外科医局長であられた重雄先生と、大蔵大臣高橋是清閣下のお孫さん（是福氏息女）である現在の令夫人との結婚の挙式が行われ千住の街は大変なお祭り騒ぎであつたことを忘れておりません。

私がご本家にご厄介になつていた年間の憶出を語ろうとすれば、原稿用紙五十枚にも及ぶことでしょうが、それはこれから機会に断片的に述べることとして、柔道整復師が名倉先生の恩を忘れてならないことがあります。

それは発会式の席上でもお話ししましたが、名倉重雄先生のご発言によつて柔道整復師が労災保険の取扱ができるようになったことです。

現在存命中の整復師は私以外には誰も知らないことなので、後輩の諸君にはぜひ銘記しておいてもらいたいものです。

健康保険法から業務上負傷が分離され労働基準法に移管されたので、柔道整復師の労災保険取扱ができるようとに東京労働基準局に陳情を統けていましたが、その頃は現在のように柔道整復師に対し医師の理解が乏しく、とくに整形外科医は整復師を目の敵にしていました。そのため、労働基準局としては許可したい意向で事を運んでいましたが、何としても労災病院や整形外科医の同調が得られなかつたのです。

そこで昭和二十九年に、わたしを中心とした東京都柔整会の幹部と関東労災病院長、湯河原厚生年金病院長、とくに反対の強い整形外科医（指名の記憶がない）、東京厚生年金病院長名倉重雄先生を東京労働基準局の小林啓重補償課長が、厚生年金病院の会議室に集めて会議を開き小林課長から「柔道整復師から労災患者の取扱の陳情が出されている、局としても本日お集まりの先生方のご意見によつて決定したい」と思いますので、「忌憚のないご意見を」との意味の発言がありました。

果せるかな「骨折は整形外科医がギブス繃帯を施し余後はマッサージ師にマッサージをさせればよいので整復師に取扱わせる必要はない」との意見が大勢を占めたのです。その間、一步も引きさがらない私とのやり取り会議が白けてしまいましたが、それまで一言も意見を述べられなかつた名倉重雄先生に対し、小林補償課長が「整形外科の大家でらつしやる名倉先生のご意見を承りたいと思いますが」といわれました。名倉先生は「私としてはオブザーバーのつもりで出席したので、あまり意見は述べたくはないが、強いて意見を求められるならば、骨折治療は出来るだけ非観血がよく、観血手術は最終手段と思う」

それに整復師が行つてゐる治療法は大学では教えていない、大学で教えていないのだから整復師の治療をとやかくはいえないと思う」と述べられました。

この発言に対して他の医師からは一言の発言もなされず、それこそ鶴の一声で柔道整復師に労災患者の取扱が認められることになったのです。今日に至るまでの大きな福音をもたらしてくれだつた名倉重雄先生に、業界の続く限り感謝と尊敬の念を失つてはならないと思います。

# 「第三回宮整いも煮会」

県内各地で紅葉の便りが聞かれ、秋たけなわとなつた十月二十六日、十一年ぶりに「第三回芋煮会」が定義山観光芋煮会場で開催されました。午前十時に七十七銀行本店前をバスで出発し、定義山到着後、定義如来西方寺を参拝。五重塔などを見学し、参道で名物の三角揚げをほおばるなどして、各自定義山を探索いたしました。

その後、紅葉に囲まれた芋煮会場でビールを片手にバーベキューや秋の風物詩である味噌味と醤油味の芋

煮汁を堪能し、秋を満喫いたしました。

今回の参加者は、会員六名、事務局員一名、準会員、従業員八名と残念な結果でしたが、参加者各々が上泉会長と直接お話をしたり、会員や準会員、舟山事務局長と気軽に情報を交換したりと終始和やかな雰囲気の中、コミュニケーションを図り、親睦を深めました。



本事業は、今年十二月一日に施行される公益法人制度改革を見据えた取り組みの一環として開催いたしました。

公益法人制度改革では、登録のみで設立可能な一般社団法人と公益認定基準を満たした公益社団法人に大別されます。

当会が目指す公益社団法人格の取得は、これまで以上に社会的信頼を獲得するという意味で非常に有益であるといえます。

公益社団法人格取得後は、本総予算額の半分以上を公益事業に費やし、より公益性の高い事業を開拓していくなければなりません。

それには、今まで以上に会組織に対する会員のマンパワーが必要不可欠になりますので、会員同志が心を通わせ一致団結してゆかねばならないのですが、それに相反するように、会員同士や家族、従業員の懇親を目的とした事業参加への積極性が懸念されています。

この現状を踏まえ、先ずは会員相

互の交流と意識高揚の機会を提供し、そこから醸成される仲間意識の向上、及び組織人としての責任と自覚を育む環境づくりを加速的に行なつて行く必要性とまた、新入会員が増加している今、会員同士が積極的にコミュニケーションを図り懇親を深めることを重要視することを目的として行なわれることとなりました。

これから始まる公益社団法人格取得及び、その存続に向けて、今まで以上に仲間意識を強固にし、多くの会員が共に力を合わせ、日頃から上泉会長が提唱されております「強い組織作り」の実現に向けて真剣に取り組んで参りましょう。

現在その手段として、各地域代表の皆様にご尽力いただき、地域貢献を目的とした各種事業を企画、実施していただいております。

その実施例として、次頁に SVM 宮城野地域の活動をご報告させていただきましたので、ご参考にしていただき、各地域で奮って地域貢献活動を開拓して下さい。

また、今後は、各地域で定期的にコミュニケーションを図り、懇親を深める機会を積極的に提供して参ります。

今後とも会員の皆様のご支援とご協力、そして一層のご理解をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(文責 事業担当)



# 平成20年度 第2回 SVM地域代表会議 開催報告

S V M幹事長 新井田一吏

平成20年9月28日  
当会館 3F



全体保険研修会に引き続いでの開催で、各地域代表の先生方におかれましては大変ご苦労様でございました。さて、今回の議題は先ずもつて「各地域・一事業」の実施についてです。各地域別れて社会貢献をすることにより各地域が盛り上がり、やがては県柔道整復師会が活性化されることを目指し、年間一事業を推進しております。

宮城野区地域は十月十九日に行われる「宮城野区民まつり」に医療救護

他地域では、ソフトバレーボール大会への医療救護参加、全国防犯協議会塩釜地区会議への参加、子供一一〇番ユニット会議への参加、石巻地区少年柔道大会への医療救護参加、等々報告を受けました。

他地域ごとに人数の違いはあります  
が、今後も出来ることを、より多くの会員の参加により活発に活動して頂きたいと思います。

次いで、S V M医療救護活動に際

して依頼者へ提出するしおりにて話し合われました。  
大会によつては、慰安的・コンディショニングマッサージのみを望むケースもあるようです。  
医療救護活動はあくまでも骨、関節、筋腱系の急性・亜急性損傷に対しての応急処置や、損傷を抱えたまま(軽度の痛みがあるまま)参加する人たちへの様々な保持・固定等を行う活動であることを確認しました。

他に I D

カードの再発行、会員親睦のいも煮会開催の連絡をして終了致しました。

各地域代

表の先生方、積極的ご意見ありがとうございますとございました。



# SVM地域貢献活動報告

## ～宮城野地域～

宮城野地域代表 稲葉泰三

- 「みやぎのまつり」 参加報告
- 「宮城野地区福住町」  
防火防災訓練 参加報告

# 「みやぎのまつり」

## ■参加報告■

澄み渡る空、これぞ秋晴れという

天候の中、十月十九日(日)宮城野区  
榴ヶ岡公園にて「みやぎのまつり」が  
盛大に開催されました。

毎年行われているこのお祭りは、  
参加団体六十五団体、約十万人が集  
う大きなイベントです。

参加者の年齢は子供からお年寄り  
まで幅広く「すずめ踊り、よさこい  
踊り、伝統はしご乗り演技、フラダ  
ンス」等、様々な演技が披露され  
ます。

又企業団  
体をはじめ、地  
域の個人団  
体も多く参加  
しています。



出店やゲ  
ーム大会、  
トトロの猫  
バスなども

あり、お祭り  
を盛り上げて  
いました。

この盛大な  
お祭りに、地  
域の先生方に



による救護ボラ  
ンティア活動  
ができることが  
は、接・整骨  
院の公益活動と共に、  
本当の意味で  
の地域密着ができる良い機会であつ  
たと思われます。

当日は多忙な中、当会員十六名の  
先生方にお集まりいただき、又、医  
療機器メーカーさんの協賛、ご支援  
もあり、無事活動を終えることがで  
きました。

参加された会員の方同志の交流・  
親睦ができたこと、協賛いただいた  
業者の方々から最新の医療機器など  
の話しを聞けたことなども、この活  
動のプラスであつたと思われます。

今回「みやぎのまつり」において  
S V M 地域活動の初参加となりまし



たが、宮城野区長をはじめ、数多くの実行委員・関係者の方々と意見交換ができ、S V M 活動をよく理解していただいたことは大きな収穫と感じております。

今後、S V M 地域活動は今回にとどまらず継続することが大切と思われます。

これからも各地域の先生方との交流を深めつつネットワークをさらに広げ地域に愛される活動を行つていきたいと思います。



秋空の下、十月二十六日(日)宮城野区福住町公園にて、第六回防火防災訓練が実施されました。

## 参加報告 防火防災訓練

### 「宮城野区福住町」



今回の防火訓練は、町内在住の医師及び医療関係者、又日赤より派遣された関係者と共に、一次救急救命の指導をしながら治療処置を行う訓練のスタッフとして参加させて頂きました。



活動内容としては、福住クリニックス院長・鈴木寿彦先生の指示のもと、日本赤十字社・菅原清悦氏と共に応急処置を行いました。

活動内容としては、福住クリニックス院長・鈴木寿彦先生の指示のもと、日本赤十字社・菅原清悦氏と共に応急処置を行いました。

当日は「午前八時五十分頃 宮城野区福住町公園付近地下十二kmを震源とする地震が発生。地震の規模はマグニチュード七・五震度六強です。町内の皆様は自宅などの被害状況

を確認の上、福住公園に避難して下さい」と言う災害設定の中・実施されました。

活動内容としては、福住クリニックス院長・鈴木寿彦先生の指示のもと、日本赤十字社・菅原清悦氏と共に応急処置を行いました。

活動内容としては、福住クリニックス院長・鈴木寿彦先生の指示のもと、日本赤十字社・菅原清悦氏と共に応急処置を行いました。

# 文部科学大臣杯争奪 第十七回

## 日整全国少年柔道大会で 宮城県チーム健闘!!

平成二十年十月十三日(日)、講道館において第十七回日整全国少年柔道大会が盛大に開催されました。

宮城県からは、先の四月二十七日(日)に女川町総合体育館での宮城県予選で、百三十二チームの頂点に立った七ヶ浜柔道スポーツ少年団Aチームが晴れの宮城県代表として出場しました。

宮城県チームは一回戦で沖縄県チームと対戦し、健闘空しく敗退してしまいましたが、少年らしい、けれども柔道が評価され見事にフェアプレー賞を受賞しました。

ちなみに、このフェアープレー賞とは今大会から新設された賞で、勝敗だけにこだわるのではなく、相手への尊重、礼節といった精神を学び

とつて、柔道を通じて心身共に強い人間に成長していくとする姿勢がみられるチームに与えられる、大変価値のある賞です。

七ヶ浜柔道スポーツ少年団におかれましては、この受賞を機に、今後ますます、すばらしい柔道を目指していただきりますようご期待し、ご期待します。



### 大会の結果

優勝

神奈川県

準優勝

北海道

3位

兵庫県 青森県

敢闘賞

奈良県 岐阜県  
茨城県 熊本県

### フェアープレー賞

優秀選手賞  
宮城県 東京A  
福岡県 栃木県

古賀颯人(神奈川県)  
辻湧斗(神奈川県)  
鎌田龍翔(北海道)  
長井達也(兵庫県)  
奈良秀太朗(青森県)

(文責 広報担当)

●宮城県チーム 七ヶ浜柔道スポーツ少年団 A



# 第4回全国健康柔体操指導者講習会に参加して

会員 志 泰 藤 佐

去る八月十日（日）に

（財）柔道整復研修試験財団主催「第四回全国健康柔体操指導者講習会」が東京・日本柔道整復専門学校において開催されました。

五年に一度の講習会とあり、新規・更新（更新は五年毎です）合わせて全国から七十名の受講者がおり、当会からは藤本淳也会員と私の2名の受講となりました。

簡単なオリエンテーションを終え「健康づくりと運動」、「高齢者機能訓練のピットホール」と題した二講演では、特に高齢者や障害者を対象にした際の運動量と運動負荷、消費カロリー等の関係や、機能訓練での注意点や禁忌事項等、今後指導していくうえで大変役立つ内

容のものでした。

その後柔道場に会場を移し、健康柔体操推進委員である井澤津久夫、粕谷衆右、両先生のご指導のもと実技講習となりました。

「柔体操全員講習」では受講者全員で体操を行い各動作での留意点や呼吸法等のご指導を受け、七～八名に分かれてのグループ練習では、動作の再確認や普段の施術においてどのように活用しているかを受講者同士が話し合うことができ大変有意義なものでした。

「座位・車椅子での対応予防介護教室」では高齢者や障害者に無理なく楽しく体操を行つてもらうための工夫や方法のご指導を受けました。

「座位・車椅子での対応予防介護教

室」では高齢者や障害者に無理なく楽しく体操を行つてもらうための工夫や方法のご指導を受けました。

また、東京・杉並区接骨師会では杉並区のバックアップのもと、ほぼ週一回のペースで「健康推進教室」を開催し柔体操の普及に努め、今では杉並区内の各地域から開催要望が後を絶たないと言うお話しを伺い、

性別、体力差、身体障害の有無に関する限り、誰もが気軽に楽しく行えるものであるからだと再確認させられました。

実技講習会の中で井澤、粕谷両先

生共に柔体操はあくまでも“基本の形”であり、これを応用して各指導者が“新しい形”を創意工夫し、それを指導者同士が情報交換していくことが理想であると話していました。

最後に今回講習を受けて、柔体操は本来の目的のとおり老若男女を問わず、誰もが簡単にできる体操であると改めて実感しました。

今後、他の会員皆様にも柔体操の素晴らしさを今まで以上に知つていただき、地域の健康増進や地域密着のための橋渡しに活用していただけたらと願い、今回のご報告といたします。

# 宮城介護News Vol.7

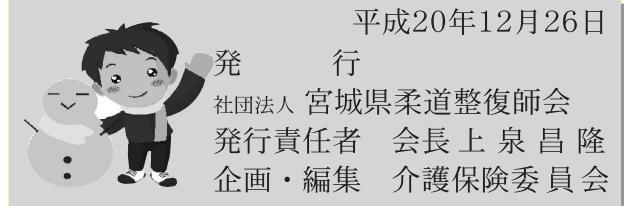
## ベガルタ仙台介護予防体操教室 日程終了のお知らせ

二期目となった今年のベガルタ仙台介護予防体操教室は、5月15日の燕沢地区から始まり、11月25日の南吉成地区まで、仙台市内22・石巻4・登米地区4の計30箇所で開催され、各開催場所近隣の本会会員18名の参加協力により、南光台地区の1ヶ所を残してまもなく終了します。

アンケートの結果はまだ分析中ですが、毎回平均20名が参加しており、口こみ・リピーターなどにより昨年よりも参加者が増えたようだとベガルタ仙台の担当者のお話でした。

参加協力頂いた本会会員から色々なご意見・感想を頂きましたのでご紹介します。

- 介護保険や介護予防については、自分たちの業務範囲からすれば無縁と思い、知識はほとんどありませんでしたし興味もありませんでしたが、今回参加してみて介護予防について理解を深めることができた。
- 機能訓練について、やわらか体操のような独自のマニュアルを作ってみたらどうかと思います。そしてこのような活動を通じて柔整師について正しく理解していただく場になればいいとも思いました。
- 柔整師のピーアールには最高の場だと思いますが自分が体操の指導をするのはちょっと難しい。
- 当会で独自のマニュアルをつくり、インストラクターを雇用して各地で体操教室を開き、近隣の会員も参加するようにしたらどうか。
- 介護予防だけではなく対象年齢を少し下げたメタボ予防もしてみてはどうか。
- 地域支援事業のモデルとしてはとても参考になりますのでビデオに収めておいてほしい。
- 仕事の負担にならない時間帯であればまた参加したい。
- 参加者をもりあげる言葉かけと無理のない運動で終始明るい雰囲気の中でとても楽しかった。



- 参加者それぞれ運動器の症状を持っており、色々相談を受け仕事面でもプラスになった。機会があればまた参加したい。

来年度も実施予定ですので介護予防についての理解を深める機会として参加いただきたいと思います。

## 介護研修会開催

平成20年11月16日(日) 午後1時～4時まで  
大崎市古川の「フィットネスケア慶 よろこび」にて、  
介護保険事業に携わる会員11名による勉強会が行われました。現在、栗原地域包括支援センターで指導員をされている佐々木聰会員のケアプラン作成に関する講義では、ケアプランの根拠に対する県の指導が厳しくなっており、介護保険利用者の課題分析をする際宮城県版(A3版)の活用・128項目のアセスメントが重要視されているようです。  
柔整師と業務内容的に近い通所事業所は今後、  
デイケア(通所リハビリ)よりも、デイサービス(通所介護)が主流になっていくのではないかということでした。

介護保険委員会の活動をとおしてはじめて言葉を交わした先生方も多く、色々なご意見・ご質問を受けても参考になりました。

今後も、介護と柔道整復師のかかわりについての情報を提供していきたいと思いますのでご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

# 宮城県「柔道整復学」構築学会

## 投稿・発表規定

2008年(平成20年) 11月8日制定

### 1、投稿・発表について

本学会への投稿及び発表は、原則として宮城県「柔道整復学」構築学会の会員に限るが、特に本会に寄与する論文と判断され、本会の会員が一名以上の共著者となつていれば会員外の投稿及び発表も受理します。

以下の六つのポイント（約束事、常識）をふまえて、しかも積極的に、気軽にどうぞ公にして下さい。

一九九七年（平成九年）、第六回日本柔道整復接骨医学会総会時の、金城 孝治会長の講演にありました言葉、「職域拡大には・・・医療知識と技術の向上によつてのみ可能である」は、今こそむしろ大切かと思います。

### 2、ケースレポートの仕方

① ケースレポートをする意義は：

i ) 非常にめずらしい（レア rare）疾患の場合

ii ) めずらしい疾患ではないが、特異な経過・転帰をたどつたケース

iii ) 治療・施術への反応が独特であつたケース

iv ) 新治療法・技術の開発・試行・実験治療を行つてみた場合の効果

v ) 非常に、取り扱いや施術・治療・リハビリに苦慮したケース

② どこの誰であるかが推定できそうな表現は絶対不可（個人情報保護）です。

症例1、症例2などとします。

③ この場合も、症例のデータ（写真など）について、自分（達）のものでない場合は、借用先を明記して下さい。

### 3、データのまとめ方

① X線、M R I、その他全てのデータについて、自分（達）が採取したものでない場合には、借用先を明記して下さい。（著作権の問題）

- ②データの計数が1ケタ(5例、8例など)の場合に、安易に平均値(代表値の1つ)を出しますと片寄った値になることがあります。その場合には中央値の方が妥当です。
- ③各症例について、誰であるか見当がつきそうな表現はなさらないよう個人情報保護して下さい。
- 表記は、例えば症例1、症例YZなど。

#### 4、発表要旨(抄録)の書き方

- ①5W1H (whenいつ、whereどこで、who誰が、what何を、whyどんな目的で、howどのように)が分かるように書いて下さい。

- ②「目的」「方法」「結果」「考察」「結論」の順に、要領よく短くまとめます。
- 〈結果〉には、得られた事実のみを書きます。

- ③文章は全て「～であつた」「～とあります。

なつた」の、である調、過去形となります。

④発表者としての主語を入れる必要がある場合には、「われわれは～」「演者らは～」などと書きます。

⑤原稿は、パソコンのワープロソフトなどで作成し、A4版用紙に横書きとします。手書原稿は採用しません。

#### 5、執筆要綱

##### 投稿論文の種類と内容説明

原著論文：新規かつオリジナルであることが構築研究委員会において認められたものです。

内容が新しい情報、

理論の提示を通して独創性を主張できる

明確な研究結果として一定の結論が得られたものです。

研究報告：独創性を問うものではないが、特に柔道

整復分野において有用、かつ意義があるものです。

症例報告：症例の臨床経験に基づいた研究をおこなつて考察が得られた

ものです。

研究資料：柔道整復、あるいは

それに関連した資料を主とした情報を提示したもの

です。

短報：内容は原著に近いが短く結論の速報として書いたものです。

治療技術：客観的情報を示し、オリジナル性の高いもの

です。

その他：柔道整復に関する多方面からの記事を含み、会員の質的向上に貢献できるものです。

6、論文の構成

表題：内容を具体的に表し、かつ簡潔な表現とし

ます。

用語には、キーワードを含むように工夫して下さい。

著者名：著者は本研究に寄与するところの大きい人のみとします。

研究の協力者は謝辞の中で記載して下さい。

要旨：目的、方法、結果、結論を簡潔に記載して下さい。

キーワード：主に主題および要旨から選び、論文の内容を最も適切に表す言葉とします。

本文 文：①）はじめに  
（序文、まえがき、緒言）  
本研究の背景、経緯、意義などを述べる導入部分。

これまでの研究との関連性を記載します。

2) 対象および方法  
用いた理論、条件、材料、方法、手順などを記載します。

その他：原稿には一連のペー

号や説明は図では下に、表では上につけて下さい。  
ジ数を記載して下さい。

3) 結果  
実験結果、データ紹介、明らかとなつた関連性、観察結果、効果などを記載します。

4) 考察  
結果の分析と検討、結果の比較と評価、問題提起、今後の課題、示唆などを記載します。

5) 結論（まとめ、結語）  
本研究の結果内容を簡潔に記載します。

図写真表：本文に示した順に掲載し、その図表の番

号や説明は図では下に、表では上につけて下さい。

## 7. 発表の仕方

① パワーポイント、スライドなど、視聴覚メディアをうまくお使い下さい。

② 発表時間の厳守  
例）八分間→四〇〇字詰原稿

十分間→四〇〇字詰原稿  
用紙八／九枚

用紙十／十一枚です。

③ 慣れていない方は、必ず発表用の下書き原稿を②に合わせて書くことをお勧めします。

ルーズに進めると、必ず結論へ行かない前に終わってしまいます。

④ ここでも5W1Hを要領よく入れて下さい。

8、  
提出

発表原稿、発表時使用データの提出は、所定の期日までに刷り上り（プリント）一部に、原稿のファイルを書き込んだ電子媒体（フロッピーディスク、CD-ROM、USBなど）を添えて、事務局宛に送付して下さい。

又は、E-mailで事務局宛にファイルを直送して頂いても構いません。

但し、使用ソフトやファイル形式については、事前に受理可能かどうか事務局に確認して下さい。

投稿原稿、発表時使用データ及び記録媒体は返却しません。

9、  
校正

校正は著者が責任を持つて行い、校正後の原稿、データを投稿して下さい。

10. 送付先

「学会誌原稿、発表データ」と朱書して、下記に送付下さい。

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号  
社団法人宮城県柔道整復師会 内  
宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 事務局  
TEL : 022-262-9181 FAX : 022-262-4181  
E-mail : mjs@mjs.or.jp

宮城県「柔道整復学」構築研究委員会  
委員会特別顧問 佐藤 捷  
委員長 酒井 賢一  
委員 庄子 和良



# 新入会員紹介

- ① 生年月日
- ② 院名
- ③ 開設年月日
- ④ 出身校
- ⑤ 趣味・特技
- ⑥ 理念・一言

※新入会員の方々の内、写真を提供いただいた会員の方より順に掲載させていただいております。



## ■ 津田 裕也

- ① S60年3月22日
- ② 安達整骨院・広瀬通  
仙台市青葉区国分町2-2-5 柴崎ビル2F
- ③ H20年4月1日
- ④ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑤ サッカー、スノーボード
- ⑥ 手を通じて心に届く治療を心がけています。  
ご指導の程宜しくお願ひ致します。



## ■ 大森 要

- ① S58年6月7日
- ② 杜のすづめの整骨院  
仙台市青葉区国分町3-4-5 クライスビル3F
- ③ H20年7月11日
- ④ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑤ 飲んだことない日本酒巡り、一人映画
- ⑥ 「笑顔・謙虚・真心」  
開業したばかりで悪戦苦闘の毎日ですがとても充実しています。常に「守・破・離」を心に留めて、地域の皆様に喜んで頂けるよう精進していきたいと思います。今後共ご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。





## ■ 土谷 修一

- ① S48年3月21日
- ② つちや整骨院  
名取市増田7-14-5
- ③ H20年8月13日
- ④ 東北柔道専門学校
- ⑤ 釣り、サッカー観戦
- ⑥ 常に感謝の気持ちを持つ  
地域の皆様に愛される整骨院になるように  
頑張ります。



## ■ 佐藤 政貴

- ① S50年5月1日
- ② さとう整骨院  
仙台市青葉区五橋2丁目10-18 2丁目ビル1F
- ③ H20年4月21日
- ④ 仙台接骨医療専門学校
- ⑤ 料理
- ⑥ 「切磋琢磨」  
地域に根差し、親しまれる整骨院を目指して努力していきたいと思います。  
今後ともご指導のほど、よろしくお願ひいたします。



## ■ 佐藤 あゆみ

- ① S 60年8月24日
- ② セントラルスポーツ接骨院  
仙台市若林区遠見塚 3-2-1
- ③ H20年11月1日 院長交代
- ④ 東日本医療専門学校
- ⑤ バイクに乗る
- ⑥ 明るく笑顔で  
まだまだ未熟者ですが、日々精進してまいります。宜しくお願ひいたします。





## ■ 榎本 吉宏

- ① S61年4月10日
- ② 仙台接骨院  
岩沼市竹の里1丁目12-10
- ③ H6年4月1日(H20年9月1日院長交代)
- ④ 仙台接骨医療専門学校
- ⑤ スポーツ観戦
- ⑥ 未熟な点も多々ありますがこれからも精進していきますのでご指導の程よろしくお願い致します。



## ■ 前田 豊

- ① S59年4月1日
- ② 阿部整骨院 福室  
仙台市宮城野区福室字田中前1-53-1
- ③ H20年4月14日
- ④ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑤ 野球
- ⑥ 「明るく楽しい雰囲気作り」  
常に笑顔を忘れずに前向きに取り組んでいきたいと思いますので、今後ともご指導の程、宜しくお願い申し上げます。



## ■ 角田 賢司

- ① S49年12月12日
- ② けんじ接骨院  
仙台市若林区荒井字高屋敷5-2-104
- ③ H20年9月24日
- ④ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑤ スノーボード・ボルダリングなど
- ⑥ 「患者様も自分たちも常に笑顔でいられる治療・院内環境を提供する」を理念に怪我の痛み・悩みから少しでも早く患者様が解放されるよう心掛け治療を行っております。  
今後も理念を土台に、多くの患者様・スタッフを笑顔にする柔道整復師めざし精進致しますので、ご指導の程宜しくお願い致します。





### ■ 佐竹 淳

- ① S50年5月11日
  - ② さたけ接骨院  
宮城郡利府町沢音東2-7
  - ③ H20年9月9日
  - ④ 仙台接骨医療専門学校
  - ⑤ スポーツ観戦・温泉
  - ⑥ 努力・一生勉強
- 今後共ご指導宜しくお願ひ致します



### ■ さいかち 皂 知弘

- ① S48年2月3日
  - ② あすか整骨院  
仙台市青葉区荒巻本沢3-7-1
  - ③ H20年10月1日
  - ④ 東日本医療専門学校
  - ⑤ 読書・掃除
  - ⑥ 色心不二 心と体は一体という理念の下、体だけではなく心のケアにも努めて参ります。  
多くの患者さまに幸福と感動を与えていけるようになります。
- 今後ともご指導よろしくお願ひいたします。



募  
集

— 意見・提言・趣味 —

— 考え、思いつき、感想、提案、会員生の声 —

あなたのご意見をお聞かせください。

- 意見を出さず、体制に追随してはいませんか。
- 意見を言わず、諦めてはいませんか。宮城県柔道整復師会は、あなたの社団です。
- 誰かがやるだろう、誰かが切り開いてくれると思っていませんか。
- 一人の意見が、大きな舵取りになることもあります。

あなたは、(社)宮城県柔道整復師会の会員です。

- どんなことでも結構です、あなたの意見、希望、疑問、情報、なんでもお知らせください。

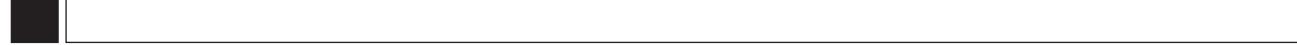
○投稿 ○電話 ○FAX ○インタビューにうかがいます。

どんな方法でも結構です、一步前へ！

# 平成20年度 S V M活動状況

(平成20年8月～平成20年11月)

依頼団体名	日 時	場 所	活動者	派遣人数
宮城県柔道スポーツ少年団協議会	8.3	仙台市泉武道館	小山智正	1
登米市柔道協会	8.10	登米市追武道館	及川佳文	1
仙台市柔道スポーツ少年団協議会	8.17	仙台市泉武道館	渡部康光	1
仙台市障害者スポーツ協会	8.17	宮城県立盲学校体育館	高橋清次	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	8.17	勝山スケート場	大槻英之	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	8.17	宮城県障害者総合体育センター	大槻英之	1
石巻柔道協会	8.24	女川町総合体育館	阿部征也・高橋昭則・木村孝哉・飯野勝幸	4
宮城ヘルシー2008ふるさとスポーツ祭 南三陸教育事務所	8.24	平成の森・スポーツ交流村・歌津中学校	中川徳之・阿部琢磨・佐藤直樹	3
宮城ヘルシー2008ふるさとスポーツ祭 登米地区教育事務所	8.24	登米総合体育館・中田総合体育館	酒井賢一・酒井公一・熊谷正行	3
宮城県警察本部	9.4	宮城県武道館	豊嶋良一・長内昭博	2
塩釜市民スポーツフェスティバル実行委員会	9.7	塩釜市体育館	大平和幸・山崎義太郎	2
宮城ヘルシー2008ふるさとスポーツ祭 北部教育事務所	9.7	大崎市三本木総合体育館	西羅昭一・菊地慎治	2
スペシャルオリンピックス日本・宮城	9.7	勝山スケート場	大槻英之	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	9.13	落合市民センター	横浜章智	1
宮城ヘルシー2008ふるさとスポーツ祭 仙台教育事務所	9.14	宮城県総合運動公園 グランディ21	大平和幸	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	9.15	勝山スケート場	大槻英之	1
宮城県柔道スポーツ少年団協議会	9.15	宮城県武道館	小山智正・渡部康光	2
スペシャルオリンピックス日本・宮城	9.21	勝山スケート場	大槻英之	1
仙台市スポーツ振興事業団	9.23	シェルコムせんだい	坂爪輝	1
宮城県障害者スポーツ協会	9.26	仙台市体育館	附田貴史	1
名取市中学校体育連盟	9.27	名取市民体育館・名取第一中学校	太田作郎・佐藤克也	2
石巻柔道協会	9.28	女川町総合体育館	飯野勝幸・木村孝哉	2
スペシャルオリンピックス日本・宮城	9.28	落合市民センター	横浜章智	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	9.28	宮城大学	大槻英之	1



依頼団体名	日 時	場 所	活動者	派遣人数
宮城県警察本部	10.2	宮城県武道館	長内昭博	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	10.5	宮城大学	大槻英之	1
岩沼市体育協会	10.5	岩沼市民体育センター	高橋清次	1
気仙沼ライオンズクラブ	10.5	気仙沼小学校	中川徳之	1
気仙沼剣道連盟	10.5	気仙沼市総合体育館	千葉昌彦	1
仙台市中体連柔道部会	10.12	宮城県武道館	高橋清次・高橋怜往	2
迫町柔道協会	10.12	登米市迫町体育館	沼澤政敏・秋葉孝・及川佳文・中島正彦	4
名取市民総合スポーツ祭実行委員会	10.13	名取スポーツパーク・名取市民体育館	山本裕太郎・平田和・佐藤慎吾	3
黒川地区防犯協会連合	10.13	まほばホール大会議室	林伸也	1
泉地区防犯協会連合	10.14	仙台市野村コミュニティーセンター	小野郁生	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	10.19	宮城大学	大槻英之	1
名取市柔道協会	10.19	名取市民体育館	目時誠	1
宮城県柔道連盟	10.19	宮城県武道館	高橋清次・高橋怜往・榎本吉宏	3
スペシャルオリンピックス日本・宮城	10.26	まるまつアリーナ	大槻英之	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	10.26	宮城県総合運動公園 グランディ21	大平和幸	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	10.26	落合市民センター	横浜章智	1
宮城県柔道スポーツ少年団協議会	10.26	宮城県武道館	小山智正・渡部康光	2
全国ソフトバー・シルバーフェスティバル栗原大会実行委員会	11/1～2	栗原市若柳総合体育館	西島真幸・熊谷克浩	3
塩釜市体育協会	11.2	塩釜市体育館	新井谷哲郎	1
仙台市障害者スポーツ協会	11.3	柴田町船岡体育館	岩佐和之	1
気仙沼柔道協会	11.3	気仙沼市総合体育館	中川久秀・中川徳之	2
スペシャルオリンピックス日本・宮城	11.8	折立市民センター	横浜章智	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	11.9	宮城大学	大槻英之	1
南三陸町空手道連盟	11.9	南三陸町スポーツ交流村	阿部琢磨	1
仙台市障害者スポーツ協会	11.9	シェルコムせんだい	坂爪輝	1
宮城県中学校体育連盟柔道専門部	11.15	宮城県武道館	高橋清次・榎本吉宏	2
スペシャルオリンピックス日本・宮城	11.16	勝山スケート場	大槻英之	1
宮城県柔道連盟	11.16	女川町総合体育館	高橋昭則・木村孝哉・飯野勝幸	3
大崎市古川柔道協会	11.16	大崎市古川武道館	藤村信彦・櫻田裕	2
スペシャルオリンピックス日本・宮城	11.23	落合市民センター	三浦吉幸・横浜章智	2
仙台市障害者スポーツ協会	11.23	シェルコムせんだい	坂爪輝	1
宮城県柔道連盟	11.24	宮城県武道館	高橋清次	1
宮城空手道北峰会	11.30	瀬峰トレーニングセンター	及川靖	1

# 会 務 報 告

平成20年8月～平成20年11月

8月	行 事	9月	行 事	10月	行 事	11月	行 事
1 金	健保連新会長表敬訪問	1月	健康フェア	1水		1土	
2 土		2火	土井議員サマーパーティー	2木		2日	三重県法人設立40周年食会
3 日		3水	日整全国会長会	3金		3月	三重県法人設立40周年式典
4 月		4木	新入会員面接	4土	"保険全体研修会補講 レセコン業者説明会"	4火	
5 火	"月初送金日 保険審査医師懇談会"	5金	月初送金日	5日	"申請書受付業務 解剖学研修in 山形 障害者スポーツ協会設立20周年式典"	5水	月初送金日
6 水	申請書締切・保険勉強会・新入会員面接・会計精査	6 土	申請書締切・保険勉強会	6月	"申請書締切・保険勉強会 月初送金 土井議員国政報告会"	6木	申請書締切日
7 木		7日	滋賀県60周年式典	7火		7金	保険勉強会
8 金	"県民医療推進協議会 新入会員面接 構築学会に関する会議"	8月	第1回ミニ学会会議	8水		8土	宮城県「柔道整復学」構築研究委員会
9 土		9火		9木		9日	第55回宮整ゴルフコンペ
10日	やわらか体操講習会in花山学園	10水		10金	"日整学校説明会(柔専) 中野議員支援団体会議 税理士会計精査"	10月	独立会員面接
11月		11木		11土	保険全体研修会補講	11火	包帯巻きコンテスト(柔専)
12火	S V M座談会	12金	税理士会計精査	12日	"日整生涯学習講習会 日整全国会長会"	12水	保険部会 会長諮問会
13水	県保険審査会	13土	第82回市民フォーラム	13月	全国少年柔道大会	13木	"県保険審査会 税務経営実態調査報告会 全国会長会"
14木		14日	市原氏受章祝賀会(高知)	14火	学術部会 SVM部会	14金	税理士会計精査
15金		15月		15水	全国地域安全運動宮城大会	15土	柔整スクール必修講座
16土		16火	"保険業務の効率化打合 愛知議員国政報告会"	16木	"県保険審査会 東北厚政局表敬訪問"	16日	
17日		17水	チャレボ関係者会議	17金	保険部会	17月	三役会
18月		18木	県保険審査会	18土	"青森県法人設立30周年記念式典 柔整スクール必修講座"	18火	
19火		19金	"日整生涯学習委員会 (小委員会) 市川議員サマーパーティ"	19日		19水	
20水	学会に関する懇談会	20土		20月		20木	
21木		21日		21火		21金	新公益法人制度に関する説明会
22金	"パラリンピック壮行会 新入会員面接 広報部会"	22月	中野議員後援会	22水	健保連宮城情報交換会	22土	
23土		23火		23木	新入会員面接	23日	接骨医学会
24日		24水		24金		24月	学術大会in東京
25月		25木	三役会・理事会	25土	"神奈川県会長視察 選挙管理委員会"	25火	審査委員医師情報交換会
26火	新公益法人制度に関する説明会 事業部会	26金		26日	"解剖学研究会in岩手 第3回宮整いも煮会"	26水	介護保険委員会
27水	"土井議員顧問委嘱に 関する話し合い"	27土	"柔整師の明日を語るin東京 構築研究委員会 みやぎ災害救援ボランティア理事会"	27月		27木	事業部会
28木		28日	"H2O保険全体研修会 第2回SVM地域代表定例会"	28火		28金	月末送金・連絡袋発送
29金	"損害調査センター情報交換会月末送金 連絡袋発送"	29月	西村議員励ます会	29水	保険打合せ	29土	
30土	柔道整復学校協会主催教員研修in大阪	30火	"新入会員面接 月末送金・連絡袋発送"	30木	"事業部会 損保会社担当者研修会講演"	30日	日本統合医療学会東北大会
31日				31金	月末送金・連絡袋発送		

## ＊＊＊風見鶏＊＊＊

今年も師走、思い返すと早いもので、あつという間の一年。

この時期、区切りの月として考えてみたいと思います。

回想、回顧、反省、検証、解析など過去をふり返る言葉はたくさんあります。

私達は、まわりで起こる事実に對して、偶然、必然を問わず、自分の経験と認識し、知恵、知識、推測、予測、意志、可能性などの情報を使しながら、方針を決定したり行動したりしています。

ですから、私達が行動する、あるいは計画を推進、構築する時、過去の情報を元に、後ろ向きで前進しているのが現実です。また過去の情報環境の中で、素因、誘因、原因、要因、条件、方法などの環境が解明できた事や、

理解できた事を、科学として認識し、再現性として同じ事実をつくり出す。

また同じ現象を繰り返し確認し、進め、認証すると一般性、そして同じ環境が作り出す事実を法則性などと理解し、後ろ向きの危うい状態を安全で確実なものに近付けようとしている訳です。

それ故、過去の経験が重要となります。

さて今年もいろいろな機会を通して、経験を積み重ね、「宮城県柔道整復師会」として、多くの重要な活動を推進してきましたが、中でも「柔道整復学構築学会」は、取り分け重要な試みであり、壮大な構想であると思います。

また、計画を立て、実行し成功へ導く方法として、「グローバルに考え、ローカルに行動する」という言葉があります。

これは広い視野で目標や計画を立て、全体を見渡して構想する。

しかし実際に活動し、計画を進め

る時は、細部から肌理細かく確實に積み上げるやり方をさしています。

また「トップダウン」中心部より、求心力を活用して情報や指向を最下部まで徹底し、目標に向け力を集中する。

「ボトムアップ」下部からの考え方やアイディアを生かし、出会い、目的に活動に参加、噴出する発想と力を全体のエネルギーとして集約し、活力を得て目標に向け押し進める。などの方法もあります。

それぞれ組織のカラーや目的により、いろいろな方法や手法があると思いますが、何れにせよ会員全員が受け止め、目標に向かつて努力しなければ達成できないことは同じです。

今年をふり返り、会務と会員個々の関わりや役目、そして充実など味わうことができたでしようか。今年の達成度、熟成度はどれ程度でしょうか。

来年に向け弾みとしたいものです。

# 編／集／後／記

今年は、本号を含めて四冊の広報誌を発刊しました。

今年最初の号（No.81・二月発刊）の編集後記に書かせていただいた通り、三、四ヶ月に一冊ペースで小刻みに、その数ヶ月にあつた事業、活動等をお伝えしてゆくという計画でスタートしましたので、その点につきましては、当初の計画を遂行できました。

内容的には、単なる報告記事に留まらず、意義や目的、成果などをなるべく盛り込みながら、「今、なぜこれをするのか？」「それによつて、どうつながつてゆくのか？」などといったことが読み手にわかりやすく伝えられるような記事作りを心掛けてきたつもりですが、これが遂行できなかつたら、読み手である皆様より、忌憚ない声をお聞かせいただきたく存じます。

年の瀬にいつも思い浮かぶことは、この一年に何をし、どこへ向かつた

のかということではないでしょうか。

どうぞ今一度、皆様のお手元に四

冊を並べていただき、社団法人宮城県柔道整復師会の今年一年を振り返つてみて下さい。

皆様の来年のより一層のご発展をご祈念申し上げ、編集後記といたします。

## 社団法人 宮城県柔道整復師会 宮 整 広 報 No.84

平成20年12月25日

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号

TEL 022(262)9181 FAX 022(262)4181

Home Page <http://www.mjs.or.jp>

発行者 会長 上泉昌隆

編 集 広報部担当理事 目時 誠

広報Working Group主任 庄子和良

委 員 平山 修 千葉勝弘 稲葉泰三

印刷所 (資)芳賀美術印刷

〒980-0003

宮城県仙台市青葉区小田原七丁目7番13号

TEL 022(222)4225(代) FAX 022(222)4228